

品川区における総合治水対策の取組状況 ー概要版ー

1.総合治水に係る計画について

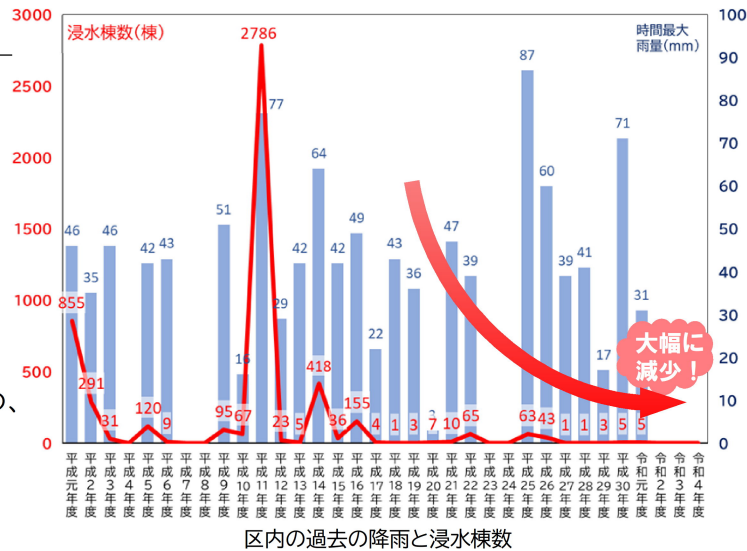
- ◆品川区では、区内全域での総合的な治水対策の計画的な推進を目指して「品川区総合治水対策推進計画」を平成3年3月に策定、平成25年3月に改訂し、これに基づき区内の治水対策を推進してきました。
- ◆時間75mm相当の降雨でも床上浸水等防止を目指し、都と区で連携して対策に取り組んでいます。

2.これまでの取組成果

- ◆区内では、平成10年頃まで五反田駅周辺を中心とした目黒川沿いに浸水被害が集中し、平成11年8月の集中豪雨では戸越銀座周辺や立会川周辺で約2800棟の浸水被害が発生。
- ◆近年、全国的に豪雨の発生回数が増加しているものの、区では、都と連携して様々な対策を積極的に進めた結果、浸水被害が大幅に減少しています。



過去の浸水発生状況(平成5年目黒川右岸部)



区内の過去の降雨と浸水棟数

流域対策とは…

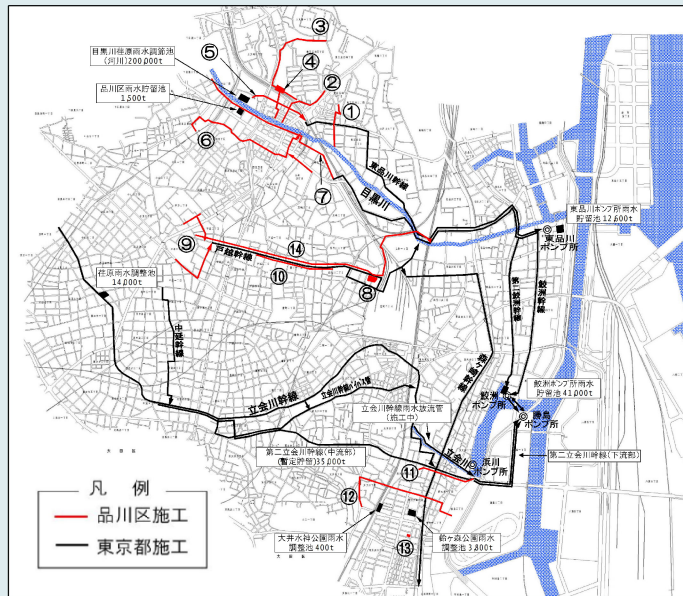
各戸において、雨水を“(貯留槽に)貯める”(“地面に)浸透させる”ことと、河川や下水道への急激な雨水の流出を抑える対策です。

流域名	対策実績(m³)	令和6年度 時間6mm相当		令和19年度 時間10mm相当	
		目標量(m³)	達成率(%)	目標量(m³)	達成率(%)
目黒川流域	74,367	73,000	101.9	87,000	85.5
渋谷川・古川流域	2,287	7,000	32.7	8,000	28.6
その他流域	61,801	63,000	98.1	75,000	82.4
区全体	138,455	143,000	96.8	170,000	81.4

荏原調節池※の貯留量(約20万m³)の約0.7個分に相当する量

官民が連携し、地道に積み上げてきた流域対策が区内の浸水対策に大きく貢献

※荏原調節池：西五反田三丁目に整備された地下式貯留施設。目黒川が危険水位以上になった時に、施設内に大量の雨水を取込み、水害を軽減します。



品川区施工による主な下水道と雨水貯留施設

3.現在の取組

- ◆東京都の「東京都豪雨対策基本方針」で示されている【流域対策】【河川・下水道整備】【家づくり・まちづくり対策】【避難方策】を基本とし、区と都で役割分担を明確にし、連携しながら治水対策に取り組んでいます
- ◆区では、流域対策、下水道整備(受託)、家づくり・まちづくり対策、避難方策を担当しています。
- ◆都では、河川整備、下水道整備、流域対策の支援を担当しており、目黒川における調節池の整備や、立会川流域における下水道幹線の整備等を行っています。(本編P29～36参照)

品川区の取組

流域対策

(本編P11～12参照)

- ・時間10mm相当の流域対策を達成するために、流域ごとの目標量を定め、雨水流出抑制施設の設置指導に引き続き取り組んでいます。

流域対策は個人宅でも協力できます！
ご協力よろしくお願いします

- ・雨水利用タンク設置助成
 - ・雨水浸透施設設置助成
- ※助成制度の利用には事前申請が必要です。



雨水利用タンク



雨水浸透ます

直径25cmの雨水浸透ます1個は1時間に約お風呂1杯分の雨水を地面に浸透できます



家づくり・まちづくり対策

(本編P20～24参照)

- ・自助による対策が促されるよう、水害に関する情報の適切な提供や、浸水被害に強い家づくりやまちづくりを促進しています。

●品川区ハザードマップと浸水履歴の提供

区では、ハザードマップ等が収録された「品川区防災地図」を全戸配布するとともに、区のホームページで過去の浸水履歴や浸水ハザードマップ等の情報提供を行っています。



●浸水被害に強い家づくりの促進

防水板設置等工事助成を行っています。助成制度の利用には事前申請が必要です。



●浸水被害に強いまちづくりの促進

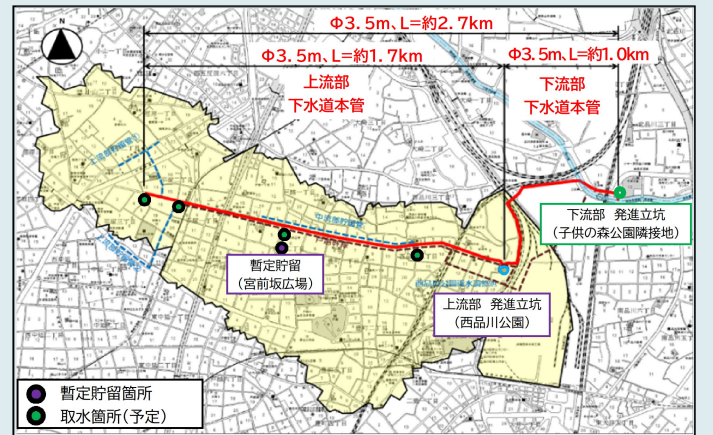
緊急時に区民が自由に利用できるよう土のうを設置しています。事前に土のう置き場を確認しておきましょう。



下水道整備(受託)

(本編P18参照)

- ・第二戸越幹線整備事業を実施しています。戸越、西品川地区周辺の浸水被害を軽減する事業で、直径3.5mの下水道管を2.7km整備しています。これまでに整備した既設の貯留管や調整池の活用により、時間50mmを超える降雨に対しても浸水被害軽減の効果が期待されています。



第二戸越幹線整備箇所図

避難方策

(本編P25～28参照)

- ・区民が、自発的に適切な避難や防災対策などが講じられるように、防災課を中心に情報提供の充実等の対策に取り組んでいます。

●災害の事前に確認する情報

・避難施設や避難情報の発令基準

水害時における避難計画を示し、避難勧告や避難指示の基準を記載しています。



●災害発生時に確認する情報

・最新の気象情報を確認しましょう

- ・品川区ホームページ
気象情報や河川の水位情報、河川監視カメラ画像が確認できます。
- ・品川区民チャンネル(11チャンネル)
大雨や洪水警報の発令時に、「区民チャンネル」に最新の気象情報等が表示されます。
- ・FMしながわ(88.9MHz)
防災行政無線と連動した情報や避難情報を放送します。

4.今後の改定に向けて

- ◆近年、気候変動による豪雨のさらなる頻発化や激甚化、被害の拡大が懸念されており、都ではより一層の対策強化が必要であると判断し、令和5年度中に東京都豪雨基本方針を改定することとしています。
- ◆区では都から新たな基本方針が示された後に、区の計画改定検討を行い、令和6年度以降に改定版を策定予定です。